

3月5日はけいちつ啓蟄



3月5日は二十四節気の「**啓蟄(けいちつ)**」です

春の暖かさを感じて、冬ごもりしていた虫が外に這い出てくるころのことです。

「啓」には「ひらく、開放する、(夜が)明ける」などの意味、「蟄」には「冬ごもりのために虫が土の下に隠れる、とじこもる」という意味があります。この時期は、一雨降るごとに気温があがってゆき、春に近づいていきます。日差しも徐々に暖かくなってきます。

**人間も『さあ働くぞ!』と意気込みを込める日で、
農作業なども畑にでて働き始める日であったそうです!**

by 千石のそよ風